



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12,NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後6：00

2019年1月号ブリテン 第342号

2018-2019年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
「私たちは変えられる」 (韓国)
「Action！」 (東日本区)
「為せは、成る」 (東京武蔵野多摩)
「未来はそれに備える人のためのものである」(甲府21)
「新しい仲間を増やして新たな出発を」

会長 大谷博愛
副会長 小山憲彦
書記 御園生好子
会計 小山久恵
直前会長 江原修一
担当主事 大津桃子

Our Motto 国際標語
国際会長 Moon Sang-bong
アジア会長 田中博之
東日本区理事 宮内友弥
あずさ部部長 廣瀬健
サンライズ会長 大谷博愛

1月第一例会のお知らせ

とき 1月5日(土曜日) 12:00~
ところ 京王プラザホテル八王子

2019 在京ワイズ合同新年会に合流して開催

◆プログラム

- 12:30~ 第一部：礼拝
12:50~ 第二部：挨拶
アトラクション「大人の紙芝居」
14:00~ 第三部：食事・懇親会
15:30 閉会

在京ワイズ合同新年会終了後、サンライズ第一例会を開催の予定。会場は未定。

12月以降の予告

- 1月22日(火) 第二例会 会場未定 18:00~
◇BF使用済み切手の整理を行います。ハサミをご持参ください。
欠席予定の方は使用済み切手を会長あてお送りください。
2月 9日(土) 第二回評議会 わくわくビレッジ 13:00~
◇あずさ部では出席義務者以外の参加を広く求めています。
2月14日(木) 第一例会 東京YMCA 19:00~
2月26日(火) 第二例会 会場未定 18:00~
3月14日(木) 第一例会 東京YMCA 19:00~

謹賀新年

新年のごあいさつ

大谷博愛



【山中クリスマスでビンゴの司会をする会長】

明けましておめでとうございます。ワイズ年度は中間点ですが、世の中は新しい年の初めなので、一言ごあいさつ申し上げます。

本年はサンライズにとって非常に忙しい年になります。クラブとしてチャーター30周年を迎え3月23日には記念パーティーを行いますし、6月1日~2日に行われる東日本区大会はホストクラブとして運営していかなければなりません。ともにメンバーの皆さまの協力がなければ成功させる

ことができないばかりではなく、それぞれを行う意義もなくなります。これからは益々忙しくなるでしょうが、クラブ一丸となって準備に取り組んでいきたいと思ひます。

もっと広い視野に立ってクラブ運営のことを考えますと、厳しい状況にあると言わざるを得ません。メンバーがなかなか増えず高齢化が進んでいるので、この傾向が今後も続くと必然的にクラブは弱体化して行きます。【次頁へ続く】

1月のハッピーバースデー

- 1日 長津絹子さん
4日 河野伸子さん

ワイズの信条

- 自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよ

12月例会出席者

- 在籍 (内広義会員 3名) 15名
メン (Make up 1名) 10名
メネット・コメット 1名
ゲスト・ビジター 11名
出席率 83%

ワイズの意義を強調するのはそれ自体いいことですが、それだけでは単なる詭い文句に過ぎず内輪受けする自己満足に終わってしまいます。今はいかにメンバーを増やすかという具体的なことを考えるべき時に来ていると思います。社会全体の動きが複雑化しているので現役世代の生活も多様化していますから、型にはまったワイズのリズムに合わせられるのは職業生活を終えた高齢者ばかりということになりがちです。ワイズの譲れない基本と柔軟にアレンジできる部分を分けて、より多くの人々がメンバーとして参加できる道を探るべき時期かもしれません。普段の例会等にはなかなか出席できないけどクラブアイデンティティをしっかりと持って他メンバーとのコミュニケーションもある程度取れている人も立派なメンバーですし、むしろそういう人たちが1回でも2回でも多く出席できる運営方式を考えることも必要かもしれません。

今年は私の亥年、皆さんと一緒に頑張ってほしいと思います。

山中湖地域子どもクリスマス会 富士五湖クラブとの合同例会

柴田弘子

12月1日(土)山中湖センターでの子どもクリスマス会は27回目になりました。サンライズのメンバーは13時に集合。スタッフ・リーダー・星住山手センター館長の準備で13時30分からクリスマス会が開催されました。今年は地域の野球大会で小学生の男子の参加がなく、親御さんを含め参加は70名ほどでした。



サンライズの出し物は、毎年恒例になっているDVDによるページェント、キリスト誕生の物語を上映しましたが、音の調子が悪く、急遽星住さんが映像を見ながら、子供たちに分かりやすくお話をしてくださいました。子供たちはリーダーとクラフト&ゲームを楽しく過ごし、大きなイチゴのショートケーキとジュースのお茶タイムの後は、大谷会長の司会・進行で子供たちが楽しみにしているビンゴゲームです。出る数字を一生懸命探す姿は微笑ましく、景品は子供たちがどんなものが好みなのか興味がありました。最後にスタッフから、プレゼントとお菓子を受け取りクリスマス会は

終了しました。

富士山部会出席の小山憲彦さん、長津さん、武蔵野多摩クラブの宮内東日本区理事、板村さん・渡辺さんが到着し、17時より富士五湖クラブとの合同例会を開催しました。大谷会長の開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条の後、宮内理事、両クラブ会長挨拶、星住山手センター館長の山手会館の耐震工事進行状況報告がありました。



今回例会の主目的は東日本区大会での記念講演で上映される、森 重昭氏のDVDを事前に見ることでした。

1時間程視聴した後、1分間スピーチでは、映像の感想やそれぞれの近況報告がありました。



その後は懇親会で用意された食事をしながら、お酒も入り賑やかな宴会になり、話は尽きませんでした。21時後藤会長の閉会点鐘、江原さんの一本締めで散会しました。ここ数年合同例会は、出席者が少人数でしたが、今回20名の出席で楽しい例会でした。



終了後宿泊のメンバーは宿泊棟の2階に移り、二次会は区大会の準備について激論が飛び交い、忌憚のない意見が出さ

れました。就眠したのは24時を回っていたと思います。



出席者：大谷会長・江原・小山(憲)・小山(久)・菰渕・柴田・菅原・長津・御園生・星住山手センター館長
 富士五湖クラブ：後藤会長・後藤(昭)さん・小池さん・原(俊)さん・原(淑)さん・望月(喜)さん・望月(勉)さん
 東京武蔵野多摩クラブ：板村さん・宮内さん・渡辺さん

納会(忘年会)と第二例会

江原修一

日本橋 プラスリー東洋に於いて 17:00～
 出席者 大谷会長、江原、小山(憲)、小山(久)、菰渕、柴田、菅原、長津・絹子メネット、御園生

例年はお散歩例会、その後に納会と第二例会となるのですが、今年はお散歩例会を省略し、納会(忘年会)と第二例会という事になりました。

夕方から冷たい雨が降り始め、お散歩例会を省略したのが吉と出ました。

集まったメンバーはいつも出席率の良い方達で、久しぶりにお会い出来る方が居なかったのが残念でした。

次々に出る美味しいお料理と、その上飲み放題という事で皆、上機嫌のうちに2時間は終了しました。

飲み、食べながらの第二例会は

- ・ブリテン原稿割り振り
- ・次期会長互選(決定せず)次回に持ち越し

サンライズクラブとしては早めのお開きでしたが翌日の東日本区大会実行委員会を控えて三々五々帰宅しました。

松本クラブ創立30周年記念例会・アジア賞授賞式

長津 徹

12月15日(土)朝9時のあずさに新宿で乗車。松本駅前集合しそばやで昼食をとり、会場の深志神社・梅風閣へ向かいました。

13時からの記念例会のメインプログラムは松本市市長菅谷昭氏による記念講演会「原子力災害による健康・環境への長期的影響」と題して話されました。菅谷氏は医者として事故後10年たった1996年から5年間、ベラルーシの首都ミンスクの甲状腺がんセンターで小児がんの治療に従事、帰国後2004年より市長に就任されています。パワポを使った講演では福島原発事故について様々な懸念をチェルノブイリの経験をふまえて分かりやすく説明されました。パワポの最後のページにある氏のつぶやきを転載します。

・チェルノブイリ原発事故による人の健康や生活環境等への影響は、事故後32年経過した今もなお收拾したとはいえず、引き続き長期にわたる注意深い経過観察が不可欠であると思います。

・福島事故は、わずか7年経過したにすぎません。チェルノブイリ事故後の汚染地の現状を教訓にして、残念ながら国の対応に期待が持てない以上、国民一人ひとりが放射能災害にもっと関心を強め、たとえ時間がかろうとも、子どもたちの未来を守るためこの国難に立ち向かう時が到来しているのではないのでしょうか。チェルノブイリの現状は、福島25年後の姿か・・・。

15時半から第20回目となる「アジア賞」授賞式が行われ、ネパール・ベトナム・中国などの留学生の表彰式と、代表によるプレゼンテーションが行われた。

17時半よりお待ちかねの交流会の宴ははじまり、各テーブルでの留学生との交流を楽しんだ。13時からの長丁場で乾いていたのをやっとなんか潤すことが出来た。19時前に東京組は途中で退出し、無事帰宅してきました。

出席者は小山(憲)、菰渕、柴田、菅原、長津の5名

強調月間：IBC / DBC

交流委員会

IBCは、国際兄弟クラブ(International Brother Clubs)の略で、ワイズメンズクラブが外国の特定のクラブと兄弟縁組を行い、永続的な交流を重ねる事業です。IBCプログラムを通して、国際的な友情を育てることが出来ます。相互の継続的かつ規則的なコミュニケーションがワイズメン運動の国際的な広がりを含めます。

サンライズは、クラブ設立間もない1990年3月17日に台北ユニオン(台湾区)とIBCを締結し、良好な関係を維持し、相互訪問や国際大会での交流も続けられています。今後のIBCの課題は、台北ユニオンとの交流に支障をきたさない範囲で、そろそろ二つ目のIBCを、特に英語圏の国のクラブを考えても良いのではないかと思います。

DBCは、国内兄弟クラブ(Domestic Brother Clubs)の略です。国際にはない日本独特のプログラムで、日本区が東西に分かれてからより活発になりました。東日本区と西日本区のクラブ間で締結されるのが本来の趣旨ですが、東日本区内のクラブが締結することもあります。同じワイズメンズクラブでもその地域によって活動内容やクラブ運営に違いがあります。お互いに良い影響を与え合うことが出来る絶好のプログラムです。

サンライズは、1999年9月十勝で開催された第18回アジア地域大会で交流が始まった東広島クラブと、2000年4月15日東広島設立5周年記念例会の席上でDBCを締結しました。以後毎年西条酒祭訪問が続いています。またクラブ設立直後から交流のあった京都プリンスクラブとは、2009年4月25日サンライズ設立20周年記念例会の席上でDBCを締結しました。さらに3クラブの良好な交流の結果、2010年6月12日広島西日本区大会の席上でDBCトライアングルの締結に至りました。

我家の新参者

小山久恵

多聞がいなくなって10ヵ月。老夫婦二人きりの単調な生活を送っていました。そんなある日、ペットショップを覗いてみると、黒柴ちゃんがありました。隣には赤柴ちゃんが、落ち着いて、おとなしくケージにおさまっています。片や、黒柴ちゃんの方は、ちょこまか動き回り、目にするものすべてに興味津々のようです。ここでこの子に一目惚れ。翌日にはもう購入してしまいました。大和(やまと)と名付けました。さて、この大和、多聞と鼻とは大違いで、戸惑う事ばかりです。仔犬なので仕方ないとしても、人間を噛む、やたらと吠える、「おすわり、待て」を教えようにも聞く耳持たずの状態なのです。多聞も鼻もお上品だったのに、大和の食事のマナーたるや、びっくりします。一日中、何かといえば餌を要求し、餌の仕度をしている間中、欣喜雀躍、全身で喜びを表して、飛び跳ね、器を置くまで動きが止まりません。餌を置く寸前あたりでもう、飛びついて食べ始め、アツと言う間に終わり、その後しばらく、未練がましく何度も確かめながら、器を舐め続けます。お散歩に出かけ、よそのワンちゃんに会うと、様子見した後、ウーと低いうなり声をあげ、攻撃に出ます。多聞と鼻は近所でも評判のお利口さん犬だったのに、大和は問題児になりそうです。そこでこの度、ワンコ保育園に通い始めました。お母さん犬や先輩お兄さん犬達に、犬社会のルールを教えてもらい、目下、わがままと噛み癖を矯正中です。

息子が結婚した段階で、もう親の役目は終わった、残りはおまけの人生、天国に召されるまでのカウントダウンだと思っていたのですが、大和が犬生を全うするまでは生きてあげなくてはと、生き方にも前向きになりました。朝夕のお散歩は、丁度良い運動となり、ダイエット効果も上がります。夫婦間にも大和の話題で、会話が交わされるようになりました。いつまでも散歩に連れて出られるようにと、健康にも気を配っています。



編集後記

平成31年も始まり、平成元年にチャーターしたサンライズが平成最後の年に区大会をホストすることに何か因縁を感じます。(Non.O)

2019年1月1日発行

東日本区理事 宮内友弥

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。

山中湖センターだより

山中湖センター 大塚一樹さん

皆様こんにちは。寒さが一層厳しい時期になりましたがお元気にお過ごしでしょうか。山中湖センターでは12月1日に地域こどもクリスマス会が行われました。今年も参加者の子供たちの楽しそうな声がセンター内に響き渡りました。学生ボランティアリーダーも参加しておりクリスマス会の会場準備やプログラムサポートなどしていただけたのでとても助かりました。活動を毎年続けていられるのも皆様のご協力があってこそです。感謝申し上げます。

まだまだ寒い日が続きますが、皆様もお身体にはお気を付けてください。

YMCA News

山手センター 大津桃子さん

1. 「第20回ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会」(STT)が、10月24日～26日に、ソウルYMCAを会場に開催された。東京YMCAからは会員・職員計8名が参加し、ソウル、台北、東京の各YMCA合わせて約40名が集った。「北東アジアの平和と安定-YMCAの役割」のテーマのもと、基調講演、各YMCAからの報告等が持たれ、課題とアイデアが共有された。最終日にはソウルYMCA115周年記念式典に出席した。
2. 「YMCA/YWCA合同祈禱週礼拝」が、11月15日に東京YWCA、在日本韓国YMCA、東京YMCAの共催で、東京YWCAカフマンホールを会場に開催され、約60名が集った。野田沢牧師(日本基督教団学生キリスト教友愛会牧師・学校法人東京YMCA学院評議員)に、今年のテーマ「ユースエンパワメントが世界を変える～限りない可能性を信じて～」に沿った説教をいただき礼拝を守った。席上献金は、日本基督教団北海教区の北海道胆振東部地震被災者支援活動のために捧げられた。第2部では懇親の時を持ち、各YMCA、YWCAの交流を深めた。
3. 「第20回日本YMCA大会」が11月23日～25日に日本YMCA同盟東山荘で開催され、全国のYMCAから会員やユースリーダー、職員など計約250名が集い、東京YMCAからも31名が参加した。ユースが中心となって企画、運営を行い、「つどえ東山荘に～すべての“Y”がつながる日～」の全体テーマのもと、テーマ別セッション、グループタイム、ワールドカフェ等が持たれ、学びと交流が促された。